

剣道部 通信

速報

女子団体大阪府ベスト32

昨日に引き続き全国中学校剣道選手権大会兼近畿中学校剣道選手権大会大阪予選が本日 7月 22日(金)岸和田市立総合体育館にて開催されました。本日は女子団体より。昨年、淀川中学校はベスト32でPL中学校と戦い10-5で負け壁の高さを痛感した大会でした。それ以降、新チームになってからは公式の団体戦での勝ちから1年遅ざかっていました。雪辱をきす今回はなんとしても団体戦の勝利をという思いでここまできました。

登録メンバーは近石 高橋 伊坂 森 西本です。

1回戦の相手は堺市立三国が丘中学校という今まで経験の無い未知の学校。対する淀川の布陣は

先鋒 次鋒 中堅 副将 大将

× 不戦 × 不戦 ○

西本 伊坂 高橋 森 近石

1回戦を危なげなく僅差の3-2で勝利しました。3人しかいない相手チームでしたが一人一人が強く厳しい戦いになりました。大将近石の2本勝は目の覚めるような面2本。途中で気持ちで引いてしまったところから持ち直しての勝利でした。

2回戦の相手は初芝立命館中学校 松葉先輩の行った高校の中等部で私立。未知数。

先鋒 次鋒 中堅 副将 大将

○ △ △ ○ △

西本 伊坂 高橋 森 近石

2回戦は2対0で副将の段階で勝負を決することができました。この試合では森が公式戦初めての1本取得でしかも2本勝ち。2年生の星を3年生が攻め続けて守った結果となりました。⇒大阪ベスト32

3回戦は八尾中学校というまた見たこともない学校との対決でしたが、事前に1回戦から相手チームの研究をし、臨みました。みんな真剣な表情で相手チームの前の試合をみていました。以前なら大会中にコートに背を向けてしゃべっていたのにそれは大きな変化を見せてくれました。

先鋒 次鋒 中堅 副将 大将

× × × △ ○

西本 伊坂 高橋 森 近石

結果は1-3での敗戦。しかし、一人一人から何とかして勝利するんだという気迫が伝わってくる内容で成長を感じられる展開でした。

勝負事には結果が付きまといますが、勝敗を超えて感じた心に残るものを大切にしてこれから大きなってください。

剣道部

通信

速報

男子団体大阪府ベスト8

昨日ベスト32に残り4回戦に臨む淀川は大阪市立阿倍野中学校と対戦しました。今回の布陣は
先鋒 次鋒 中堅 副将 大将

△ ○ × ○ ○

上山 大迫 田中 水沼 廣田

3-1で勝利しました。シーソーゲームの展開でしたがこの試合から大阪府大会登場の大迫が一気に2本勝ちでチームにいい風を運んでくれました。ベスト16

5回戦の相手は福泉中学校。過去の大阪大会でも見た記憶はなく、今日見た印象のみで試合をすすめました。布陣は今一番いい選手を使うという方針を変えず

先鋒 次鋒 中堅 副将 大将

× ○ △ ○ △

上山 大迫 田中 水沼 廣田

ここもまた競り勝ちました。チームとしては相手大将が前の試合、大将戦と代表戦を2連勝していて乗っていたのでそこまでに優勢で持っていましたと事前にミーティングをしていました。そんな中5分のところからの副将水沼の勝利はチームとして非常に大きいものでした。今大会でそういった仕事が目立ちました。⇒ベスト8

準々決勝の相手は私立明星中学校。大阪市春季総体優勝チームにして大阪府個人戦3位の大将を擁するチームです。淀川にとっては春季総体で対決しそくなっていたのでついに来たという感覚でした。

先鋒 次鋒 中堅 副将 大将

△ × ○ × ×

上山 大迫 田中 水沼 廣田

結果は1-3で敗退でした。しかし、数字以上に副将、大将にも旗があがり、あと一步のところまで追いつめました。だからこそチームにはベスト8に残った喜びの顔はなく、この試合で勝ちたかった。もっとみんなと試合をしたかったという言葉たちでした。

～大阪府大会を終えて～

この日に向けて部員たちは誰一人、練習には手を抜かず真面目に頑張ってきました。3年生は特に3年間初心者だけで励ましあいながら、ひたむきにやってきました。本来なら、今回の男女の成績は素晴らしいものなのですが、一人一人の顔には満足したということよりは悔しいという気持ちが多く見られたようでした。精一杯やって結果も出していくも満足しないという気持ちは自分自身がもっとという気持ちがあるからだと思います。そうやって自分自身がたくさん可能性があるんだ。もっとみんなで勝ちたい。勝てるはずだ。と思う気持ちがでたことが何よりも見ている顧問としては強くあります。2日間、密度の濃い時間を過ごし、疲れた身体とともに頑張ったその気持ちをしっかり休めてください。